

# 季刊地理学

## —論文投稿のご案内—

東北地理学会では会誌「季刊地理学」を年間4号発刊しています。自然地理学・人文地理学およびその関連分野の、多岐にわたる最新の研究成果が掲載されています。皆さまからの積極的な投稿をお待ちしております。

### 2026年度からの新しい取り組み

#### 1 投稿資格の緩和 (旧)筆頭著者が会員 → (新)1名以上が会員であればOK

これまでは投稿論文の筆頭著者が東北地理学会の会員である必要がありましたが、今後は著者の1名以上が会員であれば投稿できるようになります。連名の場合、筆頭著者が非会員でも投稿可能です。たとえば、卒論・修論をベースとした共著論文や学際的な共同研究の成果を、非会員の卒業生・修了生や他分野の研究者を筆頭著者として投稿することができます。

#### 2 投稿種別の新設 「データ論文(Data Article)」(査読有)

「データ論文」という種別を新たに設けます。データ論文は分析結果や解釈を含まず、データ自体の取得・作成方法、形式、所在、アクセス情報などを記述したもので、データの共有・再利用や透明化を目的としています。これを査読付き論文として掲載できるようになります。電子付録・J-STAGE Dataとあわせてご利用いただくと、研究データの共有・二次利用がさらに促進されます。

#### 3 カラー図版の無料化 (旧)電子媒体のみ無料 → (新)冊子体も無料

カラー図版を掲載したい場合、これまではJ-STAGEで公開されるPDF版のみ無料でしたが、今後は冊子体を含めすべて無料となります。カラー図版を活用することで、見やすいグラフ・地図を作成したり、複雑な情報を視覚化したりすることが可能になり、論文の質向上につながります。



## 「季刊地理学」の特徴

#### 1 自然地理学・人文地理学の両方をカバー

地形・水文・植生・気候などの自然地理学、歴史・都市・農村・経済・社会・政治・文化などの人文地理学、および災害・GISなどの学際的分野まで広く対象としています。

#### 2 多様な論文種別の設定

「論説」「展望」「研究ノート」「短報」に加え、研究・教育・巡検・社会活動にかかわる資料紹介や実践報告のための「資料・報告等」、さらに「特集論文」「討論」など多様な種別があります。2026年度からは「データ論文」が加わります。

#### 3 迅速かつ厳密な審査

季刊地理学編集委員会は年11回開催され、迅速かつ厳密な審査に取り組んでいます。論文投稿から初回の結果返却までの日数は平均64日、採択率は62.5%、受理までの期間は平均6.6か月でした(※2020-25年8月末の一般投稿論文)。

#### 4 速やかなオンライン公開

冊子刊行後、エンバゴ(非公開期間)なしで論文がJ-STAGEに掲載されます。公的資金助成を受けた論文の即時オープンアクセス(OA)にも貢献できます。

#### 5 電子付録・J-STAGE Dataの利用

審査を経た論文には電子付録およびJ-STAGE Dataに、論文を補足する資料や二次利用のためのデータを掲載することができます。たとえば、高解像度の画像、動画・音声資料、詳細な統計表、原データ、プログラムコード、教材スライドなどが対象になります。J-STAGE Data 電子関連資料にはDOIが付され、二次利用が期待されます。

#### 6 HTML形式での全文公開

J-STAGEではPDFに加えてHTML形式でも全文を閲覧可能としています。これにより自動翻訳機能が利用しやすくなり、日本語を母語としない読者からのアクセスが容易となっています。

#### 7 カラー図版の無料掲載

論文にはカラー図版を使用することができるため、見やすいグラフ・地図の作成や複雑な情報の視覚化が可能です。2026年度からは冊子体も含めてすべて無料になります。

### 東北地理学会事務局

〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3  
東北大学大学院理学研究科地理学教室内  
TEL/FAX 022-711-0593  
E-mail/tgajim@gmail.com  
<http://tohokugeo.jp/index.html>

投稿案内ページ

